

## ★宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)

専門委員長 森山敏文 副委員長 田中 真・網嶋 武

幹事 ニッ森俊一・北村堯之 幹事補佐 尚 方

日時 8月18日(木) 13:15~18:35

19日(金) 9:30~11:35

会場 室蘭市生涯学習センターきらん2階研修室1~3 (〒050-0074 室蘭市中島町2丁目22-1)

議題 測位・航法, 通信, 無人機システム及び一般

18日午後 測位・航法 (13:00~14:40)

1. TOA 測位において観測エリア内の測位誤差のばらつきを低減するための受信局選択法 網嶋 武 (明大)
2. 低SNR環境下における衛星通信端末位置標定技術の開発 ○福島浩文・白石 将 (三菱電機)
3. 航空用測距装置を用いた対流圏遅延観測  
○毛塚 敦・吉原貴之・高島宗彦・齊藤真二・小田浩幸・藤井直樹 (電子航法研)
4. Observation of Doppler frequency shift and time of flight of a Morse code propagating through ionosphere  
○Takashi Iwamoto・Mao Konishi (Mitsubishi Electric)

レーダ信号処理 (14:55~16:35)

5. 17 GHz GB-SAR による宮城県栗原市地滑り長期モニタリング ○佐藤源之・齋藤龍真 (東北大)
6. 点波源散乱モデルによるレーダクラッタの一考察 ○小林弘一 (波動システム研)・小田浩久 (総合電子)
7. 指向性を有した点波源散乱モデルの研究 ○高岡峻一 (日本無線)・小林弘一 (波動システム研)
8. 組込GPUシステムにおける圧縮センシング SAR 画像再生向け並列化手法の性能評価  
○後町将人 (三菱電機)・上田和紀 (早大)

宇宙・高高度 (16:55~18:35)

9. NTN プラットフォームに搭載する 100 GHz 帯フィーダリンク用アンテナサブシステムの研究開発  
○西堀俊幸・岡田 望・木村公洋 (JAXA)
10. スペースデブリ高分解能検出のための逆コンボリューションを用いた線分圧縮処理  
○稲葉敬之 (稲葉レーダ技術ラボ/電通大)・谷口 匠 (電通大)
11. 宇宙-地上間光通信の光地上局構築と着実な技術獲得—宇宙光直接通信技術—  
○向井達也・橋本洋輔・水田栄一・荒木智宏 (JAXA)・高山佳久 (東海大)
12. 宇宙空間における対象物体の自動捕獲法—突発的な大災害を防止するために— 市吉 修 (HNF21C)

19日午前 電波環境・干渉 (9:30~11:35)

1. レーダ間干渉抑圧を用いたチャープシーケンスレーダにおけるハードウェア不完全性の影響  
○丸山貴大 (茨城大)・梅比良正弘 (南山大)・王 瀟岩・武田茂樹 (茨城大)
2. SDR を用いた UAV 飛行高度における 920 MHz 帯の電波伝搬特性の評価 ○寺島大誠・北沢祥一 (室蘭工大)
3. 適応広帯域干渉抑圧を用いた CS レーダにおける SNR 改善法  
○志村拓人 (茨城大)・梅比良正弘 (茨城大/南山大)・王 瀟岩・武田茂樹 (茨城大)
4. 無人航空機の飛行エリアにおける電波環境予測に向けた検討—測定データとシミュレーションによる比較—  
○佐々木恵梨菜・北沢祥一 (室蘭工大)
5. 航空機電波高度計の電磁干渉試験 ニッ森俊一 (電子航法研)

◆IEEE AES Society Japan Chapter 共催

☆SANE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11月 千葉大学 [未定] テーマ: レーダ信号処理, リモートセンシング及び一般

【問合先】

ニッ森俊一 (電子航法研)

TEL [0422] 41-3174

E-mail: futatsumori@mpat.go.jp

北村堯之 (三菱電機)

TEL [0467] 41-2155

E-mail: Kitamura.Takayuki@dc.MitsubishiElectric.co.jp

○新型コロナウイルスの感染拡大防止のためオンライン開催に変更となる可能性があります。最新情報は当研究会ホームページも併せて御覧下さい。

<https://www.ieice.org/cs/sane/jpn/>